

	桔梗が丘自治連合協議会臨時総会議事録
日 時	平成23年11月19日(土) 午後1時30分～2時50分
場 所	桔梗が丘公民館・講堂
出席者	別紙記載のとおり
1. 開会の辞	<p>山中事務局長が司会を務め会議が始まった。 「只今から、平成23年度自治連合協議会の臨時総会を開催いたします。ご出席いただいた評議員各位に感謝いたします。 最初に辻森協議会会長からご挨拶を申し上げます。」</p>
2. 会長あいさつ	<p>辻森会長から、開会にあたっての挨拶があった。 <要旨> お忙しい中ご出席いただき有難うございます。 平素の自治連合協議会活動のご協力に感謝します。 本日は、新しい桔梗が丘地域ビジョンについて審議頂くことになっている。昨年、住民の皆さんのご協力を頂いて実施した「住民アンケート」及び「あったらいいな提案」等を参考に地域ビジョン策定のためのプロジェクトチームを設置し、以後50数回の検討会議を重ねて策定したのが、桔梗が丘地域ビジョン「桔梗が丘“ほっとまち”構想」です。 本日ご承認いただいた後は、小さなこと、出来ることから構想の実現に向かって一歩ずつ進めていきたい。そのためには、住民の皆さんのご意見とご協力無しには実現できないと考えているので、よろしく願いをする。</p>
3. 議事	
(1) 総会成立宣言・議事録署名人	<p>司会者から、本日の総会は協議会規約第18条の規定に基き、評議員定数40名以内のところ22名の出席があり、評議員の過半数が出席しており、本総会は有効に成立していると述べた。 引き続き、本総会の議事録署名人に「中西雅文氏」及び「渡辺保氏」の2名を選任した。 (原田議長、石川副議長所定の席に移動。)</p>

<p>(2) 議長あいさつ</p>	<p>原田議長から、本日は先程の会長挨拶にあったように、桔梗が丘地域ビジョンについて審議をいただくことになっている。最後までよろしくお願いをすると述べた。</p>
<p>(3) 議案 桔梗が丘地域ビジョン策定に関する件</p>	<p>議長から、議案「桔梗が丘地域ビジョン策定に関する件」について審議をします。本案の提案説明を「策定プロジェクトチーム」にお願いをすると述べた。</p> <p>阪本忠士企画運営委員長から地域ビジョン策定経過について概ね次のような説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年6月プロジェクトチームを立ち上げてこれまで53回の検討会議を開いた。 ・平成22年10月末に第一次ビジョン案をまとめた。これは同年7・8月に実施した住民アンケート、あったらいいな提案、合わせて2500件余の意見を分析整理した内容を基本にしている。 ・平成23年5月7日に開催された、平成23年度定時総会で中間報告をした。 ・昨年、企画運営委員長を務めた坂本直司氏から、本ビジョン案の具体的な策定経過及び内容について説明をする。 <p>議長から、本日出席いただいた評議員で、会議の途中で所用で退席される方がいるが、事前に賛同を頂いている旨報告があった。</p> <p>引き続き、坂本直司前企画運営委員長から、桔梗が丘地域ビジョン「桔梗が丘“ほっとまち”構想」について説明があった。</p> <p>最初に次のような順序で説明があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 策定の経緯（メンバー紹介） 2. 中間報告（アンケート結果の考察を平成23年度定時総会で報告したもの。） 3. “ほっとまち”構想のDVD上映。 4. 基本構想（骨格：桔梗が丘“ほっとまち”構想、“ほっとまち憲章、施策の基本的方向（基本計画）） 5. “ほっとまち”プロジェクト事業（7項目） 6. ビジョンの推進の方策及び体制 7. 取り組むべき施策や事業の一覧

<報告の要旨>

1. 策定の経緯（メンバー紹介）

昨年6月に策定プロジェクトチームが発足（10名）。一般住民を対象に公募したが応募は無く、企画運営委員と各部会員で構成。

スタートにあたり、7・8月に地域全住民を対象にした「アンケート」と地域内の小・中・高合計6校及び一般向けに「あったらいいな提案」の募集を行った。

8月1日には、四日市大学の松井真理子教授を招いて「地域づくりに関する講演会」とワークショップを実施した。

7・8月に実施したアンケートは2168通、あったらいいな提案は393件の応募があった。

10月から「アンケート」と「あったらいいな提案」の展示を行い、その後、この結果を基に地域ビジョンの策定検討に入った。

平成23年の5月に中間報告書、10月に施策の基本計画、“ほっとまち”プロジェクト事業、推進の方策及び体制についてまとめ上げた。

10月15日（土）自治連合会、10月16日（日）協議会理事会の承認を得た。10月30日（日）に住民説明会を開催して周知を図った。そして本日に至っている。

2. 中間報告

平成23年度の定時総会でアンケート結果の考察を報告したが、改めてその内容を14ページ以降の資料編にまとめて記載した。アンケートの結果及び考察について、桔梗が丘に対する愛着度、満足度・不満足度ランキング及び自由意見記述について詳細の説明があった。（資料19・20ページ記載）

「桔梗が丘が目指す将来像」「人の心が織りなす幸せ社会」ほっとまち「桔梗が丘」。

「基本理念」「6つの基本的な方向」について迄を中間報告としてまとめ定時総会で報告した。

これらを含めて映像で紹介する。

3. “ほっとまち”構想のDVD上映。

約14分間放映。（自主制作された地域ビジョンの概要）

4. 基本構想（骨格：桔梗が丘“ほっとまち”構想、“ほっとま

ち憲章、施策の基本的方向（基本計画）

我々が目指す将来像は「人の心が織りなす幸せ社会“ほっとまち” 桔梗が丘とする。

基本理念：「ほっとする心地良い居場所、そこには笑顔とやさしさがああり、絆があります。

HOTなまち、そこには人々が行き交い、元気と賑わいがあります。豊かな心、そこには自然や緑を愛する心、人を思いやる心があります。そのような人の心が織りなす幸せ社会が“ほっとまち” 桔梗が丘です。

私たちは、人がいきいきと輝き、互いを思いやり、支えあい、自分らしさを出せるよう、「人づくり」や「絆づくり」を大切にしてい、住み良さが実感できる“ほっとまち” 桔梗が丘を創ります。」とした。

これを基に6つの基本的な方向を定めた。①元気・賑わい“ほっとまち” ②安心・安全“ほっとまち” ③生きがい・健康“ほっとまち” ④緑・環境“ほっとまち” ⑤子ども・未来“ほっとまち” ⑥自律・規範“ほっとまち”です。この6つの方向にさらに具体的な方向をそれぞれまとめた。（資料参照）

この目標年次を10年とした。

次に“ほっとまち” 憲章を制定した。

- 地域活動を通じて広く社会に貢献しましょう。
- あいさつを交わすコミュニティを育みましょう。
- 未来を託す子どもたちを地域ぐるみで育みましょう。
- 自分らしさ発揮し、地域とのつながりを深めましょう。
- 自然を守り、心地よい環境を創りましょう。

5. “ほっとまち” プロジェクト事業（7項目）

これは、桔梗が丘“ほっとまち” 構想を実現するために重点的かつ戦略的に取り組むことが必要と考え、7項目にわたるプロジェクト事業を策定した。

- (1). 「何でも屋お助けセンター」の創設
- (2). 「ききょう学び舎」の創設
- (3). 「ききょう楽農園」の開設
- (4). 「地域環境ねっと」の構築
- (5). 「地域まもり隊」の創設
- (6). 拡大版「あそびつくす」の組織化

(質 疑)	<p>(7). 「ふれあい茶房」の開設 の7項目で、その目的を資料に記載されている事項に基づき具体例を交えながら詳細な説明があった。</p> <p>6. ビジョンの推進の方策体制</p> <p>(1). 桔梗が丘自治連合協議会の役割 (2). 各種団体との連携、協力 (3). 実施計画の策定 (4). 事業推進の体制</p> <p>の4項目について考察した結果、事業の推進にあたっては自治連合協議会が手掛ける事業の取捨選択、優先順位、開始時期等を検討の上、それぞれプロジェクトチームを設置して開始することになる。もちろん行政側との協働は欠かせない。又地域内の自治会・区、PTAや子ども会の活動、ボランティア団体、消防団等地域の様々な団体とのネットワーク作りにより、地域のニーズに対応した取組みの展開を図れるように体制を整備していかねばならない。</p> <p>一方、桔梗が丘地区には様々な能力をお持ちの方が数多くおられると考えられるので、このような地域の潜在的な力を最大限発揮できるよう、多くの住民の参画得て、地域ぐるみの取り組みを展開していく。</p> <p>7. 取り組むべき施策や事業の一覧</p> <p>14ページに記載されているのは、アンケート、あったらいいな提案から取り上げたもので、これらを全て手掛けるということではない。その後、実際に取り組むことが可能な事例をあげて説明があった。(一般家庭の空きガレージの利用、商店街の空き店舗等)</p> <p>議長：本議案について質疑を行うが、傍聴者の方は発言できません。質問は挙手の上、名前を告げた上お願いします。</p> <p>花本評議員：地域ビジョン策定の指導が名張市側からあったか。</p> <p>辻森会長：市側から策定にあたっての指導は無いが、地域ビジョンの推進にあたっては、平成25年度から財源面を含めて市側と協議することになっている。</p> <p>花本評議員：事業の推進のための財源はこれまでのように考慮</p>
-------	--

されるのか。

辻森会長：これまでの交付金を含め、別途新たな財源措置がされると考えている。

花本評議員：このビジョンは大変良くやっていただいたと感じている。“ほっとまち”の言葉はいいも思うが、既に出ているが、先走りではないか。

辻森会長：確かに防犯ベストに出ているが、会長判断で行った。ご理解頂きたい。

大垣副会長：ビジョンは市側の指導で策定したものではありません。我々の構想の後に策定の要請があった。財源については、市側から別途考慮されるようで、今後説明があると考えている。

議長：中村評議員、川口評議員が所用で退席したが、2名共「本議案に賛成する」と表明されている。

吉谷評議員：14ページの取り組むべき施策や事業の一覧は全て手掛けるものか。

議長：策定チームリーダーの立場で発言する。これらは例示であり、事業の候補とご理解頂きたい。

坂本前企画運営委員長：特別に発言させていただくが、先般私事で怪我をしたとき、周りの皆さんの親切が分かった。こうした小さな絆づくりの輪を拡げていきたい。(One for All, All For One)これが最も大事な姿勢と考えている。

辻森会長：当地区でもこれから後期高齢者が増えていくが、我々は“後期”を“好機”と捉える気構えで取り組んで行きます。

阪本企画運営委員長：策定プロジェクトチームの全員が、プロジェクト事業の実施にあたっては一人でも多くの皆さんの参画を願っています。ご協力をお願いします。

議長：策定チームリーダーとして発言させていただく。地域ビジョンに2年間関わってきたが、この地域ビジョンは家に例えると骨格が出来上がっただけで、これからの大切になります。皆様のご協力を是非お願いします。

大垣副会長：自治連合協議会と自治連合会の二重立てにならないか心配する向きがあるが、自治連合会は協議会の中核組織として活動されているので、その懸念はありません。

議長：それでは引き続き採決に移ります。本議案について、承認されます評議員の挙手をお願いします。

<p>4. 議長議事終了のあいさつ</p> <p>5. 閉会のあいさつ</p> <p>6. 閉会の辞</p>	<p>全員賛成であります。よって「桔梗が丘地域ビジョン策定に関する件」は原案のとおり承認されました。</p> <p>本日の議事は以上であります。これにて議事を終了いたします。</p> <p>大垣副会長から、閉会の挨拶があった。</p> <p><要旨></p> <p>長時間の審議ありがとうございました。</p> <p>今回、桔梗が丘“ほっとまち”構想の策定にご尽力いただいたプロジェクトチームの方々に感謝します。</p> <p>しかし策定された地域ビジョンはスタート地点に立ったばかりで、これからが正念場となります。</p> <p>自治連合協議会としては、実現に向けて何から始めるのか検討をいたします。そして平成24年度の定時総会には何らかの事業の提案をしたいと考えております。しかし、事業の推進・実現にあたっては皆様のご協力なしには出来ません。皆さんの出来る範囲の事でも結構です。どうか今後ともご協力をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>司会者：以上で本日の予定は全て終了しました。これを持ちまして臨時総会を閉会と致します。</p> <p style="text-align: right;">議 長 <u>原田忠義</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>中西雅文</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>渡辺保</u></p>								
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">会 長</td> <td style="width: 25%;">副会長</td> <td style="width: 25%;">副会長</td> <td style="width: 25%;">書 記</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	会 長	副会長	副会長	書 記				
会 長	副会長	副会長	書 記						
									